

# とおちっ子

十市小学校だより第33号

令和7年1月8日

文責 藤川 尚司



## あけましておめでとございます 本年もよろしくお願いたします

令和7年は、寒さは相変わらずでしたがよいお天気が続いたので、皆様おだやかなお正月をお過ごしになったことだと存じます。今年1年が、年始同様におだやかに過ごすことのできる年になればと願っています。

さて、3学期は1年間のまとめの学期となります。本学期も当たり前の毎日の積み上げを大切に、子どもたちがよい1年間の締めくくりができるような教育活動に努めたいと思います。

### 3学期始業式

3学期は1年間のまとめとなる学期です。1年間で学んだことにいっそう磨きをかけ、ひとつ学年が上がるための準備をする学期です。皆さんは、新しい年を迎えている様々な夢や希望をもったことだと思います。そんな今だからこそ、素敵な学校生活を送り、たくさんの力を身に付けようという決意を新たに、新学期に向かってほしいと思います。よい1年間の締めくくりができるように頑張りましょう。

さて、3学期も十市小学校はみんなで「十市っ子の当たり前」を磨きます。当たり前のことをおろそかにせず、毎日が練習の心を持って、みんなが過ごしやすく、笑顔があふれる学校を目指します。そのために、全校の仲間一人一人が、当たり前の生活を自分のこととして心がけ、努力を怠らないようにしてほしいと思います。

みんなが過ごしやすい学校になるために大切なことは、「自分もみんなの一人なんだ」という心がけです。誰かにしてもらうのではなく、自分も学校で過ごす一員だと自覚して、自分勝手やわがままを慎んで生活を送ることが必要です。そして、そんな心がけを持った仲間が集まって、みんなで学校を過ごしやすい学校がつけられます。

2学期の終業式では、「十市っ子の当たり前」のレベルアップについてお話をしました。3学期は一人一人が毎日の生活を大切に送り、もっと楽しくてすてきな十市小学校になるよう頑張りましょう。

ところで、6年生にとっては小学校生活のまとめの学期となります。中学校に上がるためにしっかりと自分を整えてほしいと思います。そして同時に、これからの十市小学校がより素晴らしい学校となるよう、よき伝統を残してほしいと願います。6年生が残すよき伝統を下級生は受け継ぎ、守っていきます。下級生は、ぜひ3学期の6年生の生活をよく見て学んでください。これからの十市小学校をつくっていくためのお手本となるよさがいっぱい見つかるだろうと思います。3学期も、6年生の活躍に大いに期待しています。また、5年生は次のリーダーです。この3学期に、6年生の姿を見て、しっかりと心構えをしてください。

寒い冬はまだ続きます。でもその後には心地よい春が来ます。春の日差しを心から嬉しく感じる1年間の終わりとなるよう、3学期もがんばりましょう。

### 2学期末のひとこま

12月16日(月)、朝の学習が始まる時間帯に、予告なしの地震避難訓練を行いました。さすが十市っ子です。急な合図でも、速やかに避難ができました。ただ、月曜日だったためか、上履きのない仲間がちらほら…。足元の危険を避けるため、上履きは大事だよとお話しました。

12月24日(火) サンタさんが、職員室を訪問してくれました。支援級の仲間が、活動で作ったものを職員室の先生に届けてくれました。ありがとう。

12月25日(水)は2学期終業式。6年生の代表が終業式にあたってのあいさつをしてくれました。始業式や終業式では6年生が「児童代表の言葉」を述べるのが恒例となっていますが、いつもとても立派なあいさつをしてくれます。全校のみんなの「よく聞く」こともいつもどおり見事で、とてもよい2学期の締めくくりをすることができました。

